

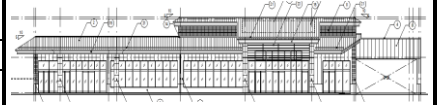
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年通補版Ver.2 (BPV/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bei&bpi(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フレンドマート宇治菟道店新築	階数	地上1F
建設地	京都府宇治市菟道荒瀬1番48外	構造	S造
用途地域	準住居 準防火地域	平均居住人員	150 人
気候区分		年間使用時間	6,570 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2014年7月25日
敷地面積	6,298 m <sup>2</sup>	作成者	松本拓也
建築面積	2,462 m <sup>2</sup>	確認日	2014年7月26日
延床面積	2,345 m <sup>2</sup>	確認者	定森淳一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 84%

③上記+②以外の 84%

④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 (スコア: 3.0)

Q2 サービス性能 (スコア: 3.3)

Q3 室外環境(敷地内) (スコア: 2.7)

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー (スコア: 3.8)

LR2 資源・マテリアル (スコア: 3.5)

LR3 敷地外環境 (スコア: 3.4)

3 設計上の配慮事項		
総合	室内環境及び、室外環境への配慮を行うなど、利用者が快適に利用できる環境作りに努めている。また、建物全体で年間300000MJ/m <sup>2</sup> を超える太陽光発電設備の導入、さらにLED照明など高効率設備を採用することで、エネルギー性に優れた建物となっている。	その他
Q1 室内環境	内装材はF☆☆☆☆のものを使用し、室内の空気質環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
Q2 サービス性能	天井高・階高・壁長さにゆとりを持たせることで、機能性、更新性に配慮した設計となっている。	敷地内70%を超える、外構緑化を行うなど、敷地内環境に配慮している。
LR1 エネルギー	年間15MJ/m <sup>2</sup> を超える太陽光発電設備の導入、さらに高効率設備を採用することで、運用時におけるCO <sub>2</sub> 排出量を削減し、建築物の環境負荷低減に配慮した設計となっている。	LR3 敷地外環境
LR2 資源・マテリアル	節水型水栓・節水型便器を採用することで水資源の保護に努めている。有害物質を含まない材料を使用し、室内環境に配慮している。	エコキュートを採用することで、地球温暖化への配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される